



## 地理の写真館

### 消え行く氷河 (カナディアンロッキー)

カナダを代表する観光地であるカナディアンロッキーは、ブリティッシュコロンビア州 (B.C州) とアルバータ州にまたがって接するバンフ、ジャスパーなど4つの国立公園とロブソン山などのB.C州の州立公園を加えた山岳エリアであり、この山岳エリア全域が「カナディアン・ロッキー山脈自然公園群」としてユネスコの世界遺産に登録されている。ロッキーの国立公園に入る場合は、公園内の管理のため大人一人一日6カナダドル (約660円) の入場料が必要となる。また、国立公園内では、ゴミ捨ての禁止、植物や石の採集、木々を傷つけることなどの自然を破壊する行為、動物へ餌をやらないことなどの禁止事項が定められている。

バンフからトランス・カナダ・ハイウェイとアイスフィールド・パークウェイを北上して行くと最大の見所であるコロンビア大氷原 (面積325km<sup>2</sup>) に着く。道路から見えるのは、この大氷原から流れ出すいくつもの氷河の一つ、アサバスカ氷河である。かつては氷河

がここまで存在していたという年代の標識 (写真①) をいくつも見ながら末端近くの駐車場に車を止める。そこから10分ほどで氷河の末端に着く (写真②)。現在は国道から400mも奥になってしまっている。かつて氷河が存在していたところは湖や堆積物で覆われ、氷河の後退の様子をうかがい知ることができる (写真③)。バスと雪上車で氷河の上を散策できるツアーも開催されているが、現地の専門ガイドの案内で簡易アイゼンを着けながらトレッキングすることで氷河の様々な姿 (氷河上を蛇行して流れる水や大人一人がすっぽり落ちそうな大きな穴、氷河移動の証となるボールの傾きなど) を見ることができる。

アサバスカ氷河から南に約50kmの所にクロウフット氷河がある。かつては山の斜面にカラスの足を思わせる3本の氷河が伸びていたが、現在は一本が消滅して2本の指になってしまった (写真④)。温暖化による影響が世界各地で深刻化しているが、決して他人事ではないことを生徒たちにしっかりと教えたい。

(長野県高校教諭)

#### 写・真・募・集

このコーナーの「カラー写真」を募集しています。海外巡検などで撮影された地理的写真を、資料編集部「地理・地図資料」係までお送りください。